

A P E C食料安全保障担当大臣会合・閣僚宣言の概要

前文

- ・ A P E Cとして初めての食料安全保障担当大臣会合を新潟市で開催。
- ・ 世界の食料安全保障は岐路に立ち、将来に向けて増産が必要。

食料安全保障とA P E C

- ・ 食料安全保障はA P E Cエコノミーの共通の関心事項。
- ・ 農業は国土保全、水源涵養、景観保持などの正の外部性に寄与。
- ・ A P E C地域は、①減少したとはいえ多くの栄養不足人口を抱え、②価格高騰時に抗議行動が生じ、③地震や洪水などの自然災害の影響を受けやすい一方で、④世界の食料の生産と貿易の中心であることから、地域の経済技術協力を通じて食料安全保障に貢献可能。
- ・ A P E Cメンバーが協力して取り組む2つの共通目標を設定。
- ・ 具体的行動を定めた「食料安全保障に関するA P E C行動計画」を承認。

共通目標1：持続可能な農業の発展

【人口と所得の増加による食料需給の不均衡に対応するため、A P E C地域における農村開発を伴った食料供給の増大が必要。こうした取組みは、気候変動への適応と緩和や災害対応の強化によって補完されるべき。】

○ 食料供給力の拡大

- ・ 生産性向上のために、研究開発、普及、社会資本の整備を推進。
- ・ 安全、有効で環境面で持続的なバイオテクノロジー等の新技術の審査、認可、採用を含む生産性の向上に必要な資源を動員。
- ・ A P E C地域における農業生産の増大の必要性に合意。
- ・ 食品ロス削減のための優良事例を共有するよう協力を奨励。
- ・ 漁業資源は引き続き有望な食料供給源であり続けることを認識。

○ 農業災害対応の改善

- ・ 気候変動を踏まえた農業災害対策や復興の能力向上に向けて協力。
- ・ 国境を越える動植物疾病の防疫に協力。

○ 農村地域の振興

- ・ 地域振興と食料安全保障に資する優良手法をエコノミー間で共有。
- ・ 地元食材の消費推進による多様な食生活への貢献を認識。
- ・ 女性や貧困農家の能力向上に資する投資拡大の必要性に同意。

- 気候変動と天然資源管理への対応
 - ・ 気候変動への適応と緩和に向けて、技術開発等、共同での取組を推進。
 - ・ 水不足の進行、砂漠化や農地潰廃の進行、生物多様性の喪失、熱帯雨林の劣化、海洋水産資源の枯渇等の天然資源に関する課題に対応。

共通目標 2：投資、貿易及び市場機能の円滑化

【食料安全保障には、食料の安定的・効率的・公正な配分が不可欠。利害関係者とともに、農産物貿易の促進、市場の信頼性確保、ビジネス環境整備、食品安全措置の改善に協力。併せて、責任ある農業投資を促進。】

- 農業投資の促進
 - ・ 長期的な食料安全保障の確保に向けた農業投資の強化を確認。
 - ・ 農業投資の原則や優良慣行の策定に向けた国際機関の取組みを支持。
- 農産物貿易の円滑化
 - ・ WTOドーハラウンドの妥結に向けた努力を継続。
 - ・ 2008年APEC首脳声明の現状維持約束^(注)の2011年までの延長を確認。
 - ・ 国内生産・貿易・備蓄等の適切な組合せの必要性に留意。
- 農産物市場の信頼性強化
 - ・ 価格の不安定性への対処や国際市場の信頼性強化のために協力。
- アグリビジネス環境の改善
 - ・ 社会資本の提供等を通じ、投資環境の改善に向けて協力。
 - ・ 食料・農業部門におけるマイクロファイナンスの進展に期待。
 - ・ 充分で安全な食品を供給するフードチェーンの発展を促進。
- 食品安全措置の改善
 - ・ 食品安全に関する能力開発と科学的根拠に基づく規制の確立を推進。
 - ・ 関連作業部会を通じて食品安全分野の協力を推進。

利害関係者との協力

- ・ APECビジネス諮問委員会等の広範な利害関係者の関与を推進。

今後の道筋

- ・ 毎年閣僚会議に進捗を報告し、終了時点で最終評価をとりまとめ。

(注) 新たな投資・貿易障壁の設置、新たな輸出制限の導入等を今後1年間控えることに合意。

食料安全保障に関するAPEC行動計画の概要

行動	対応年	エコノミー
共通事項		
○ 情報共有のためのプラットフォームの構築 ・活動成果、ベストプラクティス等の情報を集約するウェブサイトを整備し、活動状況を管理	2011-	日本
共通目標 1：持続可能な農業の発展		
食料供給力の拡大		
○ 農業の新旧技術の移転 ・農業技術に関する情報を共有するためのウェブサイトを整備 ・農業技術移転プラットフォーム構築のためのワークショップを開催 ・農業技術開発・移転のための環境を改善するための会議を開催 ・水資源利用及び農民参加型水管理に関する情報共有のためのシンポジウムを開催 ・2015年時点の消費量を満たすため、食用作物の生産能力向上ワークショップを開催	2010-2012 2010-2011 2010 2011 2010-2012	中国 中国 中国 日本 タイ
○ 研究・技術開発の推進 ・途上国エコノミーの研究者に農業研究の研修を提供 ・地球温暖化や食料安全保障に関する国際共同研究を強化 ・農業バイオテクノロジーの投資を支える制度についてのワークショップを開催 ・途上エコノミーの食料安全保障の課題に関する意見交換、能力構築のための会議を開催	2011-2013 2011- 2010-2011 2011-2012	日本 日本 米国 タイ
○ APEC域外との協力の検討 ・アフリカ等の開発途上国に対する農業支援についての情報を共有 ・アフリカ、ラテンアメリカ等の途上国との農業技術の共有のための協力プログラムを実施	2011- 2010-2014	日本 韓国
○ 食品ロスの軽減 ・ポストハーベストの取扱いの情報を共有するワークショップ等を実施	2012-2015	チャイニーズタイペイ
○ 持続的な水産資源の利用 ・食料供給や生計を保障するための水産業の開発援助のための構想を策定 ・回遊小魚の食用としての供給可能性に関する調査を実施 ・水産養殖業の食品安全上の問題に関する研修教材を提供 ・水産資源の持続的利用に関する情報を共有	2010 2010-2011 2010 2011-	豪州 ペルー 米国 日本
農業災害対応の改善		
○ 農業分野の災害対応に関する能力強化 ・農業分野の防災・減災対策、災害時における支援手法についてベストプラクティスを共有 ・地滑り軽減の技術を共有するためのワークショップ等を実施	2011- 2011-2013	日本 チャイニーズタイペイ
○ 越境性動植物疾病の予防と規制 ・植物病虫害の監視及び診断に関する技術の能力構築のための研修を実施 ・外来生物の侵入危機に対応するためのワークショップを開催 ・国境を越えた動物インフルエンザの拡散に関する検査・検疫当局間の相互理解を強化 ・検疫当局者に対する輸入農産物のくん蒸監査に関する研修を実施 ・植物衛生上のリスク管理手法に関する研修ワークショップを開催	2010-2011 2011-2014 2011 2010-2012 2010-2011	豪州 マレーシア 中国 豪州 豪州
農村地域の振興		
○ 地域農産品の消費の促進 ・地域農産品に関するワークショップを実施し、食品の多様化に関する研究ネットワークを設立 ・地域特産の野菜の市場を拡大するためのワークショップ等を実施 ・地域に固有の野菜の保全と活用に関する情報交換のためのワークショップを開催	2011-2014 2011-2014 2011-2013	インドネシア チャイニーズタイペイ タイ
○ 農村地域振興に有効な手法の普及 ・農村女性の起業活動、グリーンツーリズムや農村文化交流のベストプラクティスを共有 ・農村地域の貧困対策に関するワークショップを開催	2011- 2010	日本 韓国
気候変動と天然資源管理への対応		
○ 気候変動に対処するための農業手法の普及 ・温室効果ガス削減への可能な貢献に関するシンポジウムを開催 ・適応策・緩和策に関する知見を共有するためのワークショップを開催 ・気候変動に対する農民の適応能力を改善するための研修の提供とワークショップを開催 ・情報・地図化システムにより特定された適応策・緩和策の普及のためのワークショップを開催	2011 2011 2011-2013 2011-2013	フィリピン 日本 タイ 日本

行動	対応年	国/米
<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動に適応する灌漑技術・管理の情報を共有するためのワークショップ等を実施 ・気候変動に適応可能で持続的な水稻栽培システムに関する研究を推進し情報を共有 	2011-2013 2011-	チャイニーズタイペイ 日本
○ 気候変動に対処するための研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動下で、持続的な食料生産の手法開発のためのワークショップ等を実施 ・気候変動下で、持続的な家畜生産を確保するための共同研究等を実施 	2011-2013 2011-2013	チャイニーズタイペイ タイ
○ 食料安全保障と両立したバイオエネルギーの開発 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオエネルギー及びバイオマスの知見を共有 ・バイオ燃料ネットワーク年次シンポジウム及びバイオトレード/技術研修ワークショップを開催 	2011- 2011	日本 タイ
○ 食料安全保障と両立する持続可能な森林管理の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・農地利用に伴う森林伐採の環境への影響について情報を共有 	2011-	日本
○ バイオ燃料に関するカルパシ議定書の普及推進 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオ燃料に関するカルパシ議定書についてのワークショップを開催 ・カルパシ議定書締約国会議に関するシンポジウムの成果を共有 	2011 2011-2012	米国 日本
共通目標 2 : 投資、貿易及び市場機能の円滑化		
農業投資の促進		
○ 農業投資の重要性の認識及びその促進 <ul style="list-style-type: none"> ・責任ある農業投資の取組を促進するための会合を開催 	2011-2012	日本
農産物貿易の円滑化		
○ 貿易の円滑化 <ul style="list-style-type: none"> ・食料貿易における電子証明書の適用促進のためのワークショップを開催 ・食料安全保障の強化に対する市場開放の効果に関する報告書を作成 ・農作物のバイオテクノロジーに関する規則、基準等の国際的な枠組みの調査を実施 	2011-2014 2010-2012 2011-2012	中国 NZ カナダ
農産物市場の信頼性強化		
○ 農産物市場の不確実性への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物需給、在庫・品質・備蓄等に関する情報を共有 ・先進地区のベストプラクティスに基づいた統一化された情報と統計の農業ポータルを開発 	2011- 2010-2011	日本 ロシア
○ 食料危機の際の食料供給の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食料備蓄システムを検討するための研究を実施 	2011-2013	チャイニーズタイペイ
アグリビジネス環境の改善		
○ 規制や制度上の制約の撤廃 <ul style="list-style-type: none"> ・進展の遅れている分野の原因及び非効率性を評価するパイロットプロジェクトを実施 	2011	米国
○ 食品産業の発展 <ul style="list-style-type: none"> ・食品企業の品質管理や資源・環境対策に関する対話を実施 ・食文化や食生活、消費者の嗜好等に関する情報を共有 	2010-2011 2011-	日本 日本
○ フードチェーンの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・フードチェーンのトレーサビリティに関するワークショップを開催 ・学校給食制度に関する調査を実施 ・植物防疫に関する地域的な取組を検討するためのワークショップを開催 ・APEC地域の研究所の能力を向上するための取組を実施 	2011-2012 2010 2010-2012 2011	中国 ロシア マレーシア 米国
○ 植物新品種の知的財産権の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・植物新品種の審査データを共有するためのシンポジウムを開催 	2011	日本
食品安全措置の改善		
○ 食品安全措置の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・食品の主な化学汚染物質の特定に関し、検査官に対する技術的な研修を実施 ・サプライチェーンを強化するための食品安全計画の策定のための研修を実施 ・食品安全ネットワークを構築するためのシンポジウムを開催 ・HACCP(ハ CCP)の手法を取り入れたブライド飼育場に関するワークショップを開催 ・食品テロ対策パイロットプロジェクトから得られた教訓を普及するワークショップを実施 	2011-2014 2010-2011 2011 2011 2010-2011	中国 米国 フィリピン タイ 米国